

## 序論

### 研究動機・目的・方法

ハンドボールの試合を行ううえで、チームのキーパーというポジションは非常に重要な役割を担っているといえる。プレイヤー全員でディフェンスを行うわけだが、最終的に相手チームのシュートを止め、ゴールを守らなければならないポジションがキーパーだからである。このチームの失点に大きく影響してくる各チームのキーパーの出来、技術の差が試合の勝敗にも多大な影響を及ぼすと考えられるため、筆者はキーピングの個人戦術について研究してみたいと考えた。

キーピングの技術といっても具体的には数多く存在する。この中で筆者はキーパーの“位置取り”について着目してみることにした。なぜ“位置取り”か、というと多々存在するキーピングその全ての基本として“位置取り”があると考えられるためである。

本研究の目的はこの“位置取り”に関する研究をすることでキーピングの安定度やキーパーの技術全体の向上を狙うものとする。

本研究ではアテネオリンピックでのヘニング・フリッツ選手（ドイツ代表1番）のプレイをポジションごとのプレイに選出し、それらを映像に抽出して、マイネルのモルフォロギー的考察法、運動カテゴリーの助けを借りながら、印象分析し、それらを考察していくものとする。

## 本論

### 第一章 ハンドボールの構造特性

この章ではゴールキーピングのことを研究していく上で、まずハンドボールの構造特性、さらにはハンドボールにおけるゴールキーパーの構造体系、またゴールキーパーというポジションがハンドボール競技のなかで、どのような位置を占めているのかということを理解し、考えてみる。ボールゲームの中でハンドボールという競技はどのようなものなのかということを理解していくことが、本研究において有効なこととなる。

### 第二章 ゲームの運動観察方法

この章では本研究を進めていくために用いる運動観察方法について、おもにK・マイネルのスポーツ運動学に関する考えの説明についてまとめている。モルフォロギー的考察法とは、スポーツ運動を目を通して外から知覚してだけでなく、体験し、中から知覚することによって大きく補充され、拡大されるものなのである。さらにマイネルの可視的な「運動質」の八つのカテゴリー①運動の局面構造 ②運動リズム ③運動伝導 ④流動

⑤運動の弾性 ⑥運動の先取り ⑦運動の正確性 ⑧運動の調和のうち、運動の局面構造、運動リズム、運動の先取り、運動の正確性の四つが今回の研究を進めていくうえで重要であると考え、進めていく。

## 第三章 ゲームにおけるゴールキーパーのキーピングの観察

アテネオリンピックでのドイツの試合からフリッツ選手のゴールキーピングをビデオ観察する。マイネルのカテゴリーのなかから「運動の先取り」、「運動の局面構造」、「運動のリズム」、「運動の正確性」を考え、そのなかでも特に「運動の先取り」を中心として類型化し、さらにそのなかから重要な視点であると考えた“位置取り”の動作に着目して運動感覚、諸徴表がきわだって表れている典型事例を抽出し、そして印象分析していく。その結果、本研究では①ロングシュート ②サイドシュート“待ち” ③サイドシュート“飛び出し” ④ポストシュート ⑤ノーマークシュートの五つに類型化して、それぞれの特性を明らかにした。

## 結論

- ①ロングシュート……“駆け引き”のなかで「運動の先取り」と「運動の正確性」が密接に関わっている。
- ②サイドシュート……自己と他者の「運動の先取り」によって相手に“誘い”をかけながら“駆け引き”に勝利している。
- ③サイドシュート……「運動のリズム」の必要性、重要性が顕著に現れている。  
(飛び出し)
- ④ポストシュート……「運動の先取り」「局面構造」「リズム」の密接な関わりが浮き彫りとなるものであった。
- ⑤ノーマークシュート…“駆け引き”のなかでの“誘い”、その思惑が観てとれるものであった。

本研究では、ゴールキーパーのキーピングについて“位置取り”を中心として分析し、考察してきた。その結果、「ここからのシュートならば、この“位置取り”が最も適している」というような具体的な結果を出すことは出来なかった。しかし、どのような“位置取り”を取ったにしても、その“位置取り”のなかでシューターとの“駆け引き”に勝利することでシュートを防ぐことが出来る。めまぐるしく変化するゲーム状況のなかで、あらかじめ決められている“位置取り”を取ろうとするよりも、その瞬間の状況、シューターの運動を“先取り”し、選択された“位置取り”のなかで、シューターとの“駆け引き”を如何に勝利するかということが重要なのである。そして、その“駆け引き”に勝利するには全ての事例のなかで顕著に見られた「運動の先取り」を中心としたマイネルの諸カテゴリーが必要となるのである。

(引用・参考文献省略)

(資料参照)